

事務連絡
令和3年5月14日

各正会員
事務局責任者 様

公益社団法人全国産業資源循環連合会
専務理事 森谷 賢

産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2021年1-3月期】の送付について

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、本調査の実施にあたり全産連発第206号(令和3年4月9日付け)にて貴協会会員企業にご協力をお願いしたところですが、今般、景況動向調査報告書【2021年1-3月期】がまとまりましたので、送付いたします。

報告書の概要版につきましては、連合会ホームページに掲載しておりますので、以下のURLをご参照ください。

【報告書概要版の掲載ページ URL】

<https://www.zensanpairen.or.jp/activities/report/>

なお、次期の調査(2021年4-6月期)につきましては、令和3年7月中旬頃に調査票の発送を予定しておりますので、ご承知おきください。

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2021年1-3月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は298社から回答があった。景況判断DI(2ページ参照)は▲25となり、前期調査(▲27)から2ポイント改善した。一方、来期の見通しは▲30となり、5ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点(12ページ参照)を見ると、2期ぶりに「需要の停滞」が1位となった。なお「従業員の不足」は、3期連続で割合が増加している。

以下、その他業況感DIの内訳

2020年10-12月期に対して、

- ・売上高DIは▲9で、20ポイント悪化
- ・処理量DIは▲12で、19ポイント悪化
- ・営業利益DIは▲11で、4ポイント悪化
- ・資金繰りDIは▲1で、前期と変わらず
- ・借入難易度DIは6で、3ポイント悪化
- ・設備投資DIは▲4で、3ポイント悪化
- ・従業員数DIは▲6で、2ポイント悪化
- ・契約単価DIは、収集運搬が1で、前期と変わらず
処分が4で、2ポイント悪化

- 売上高の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で0.8%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で2.8%減となった。
- 経常利益率については、平均値が7.1%で前期調査(6.2%)より改善した。

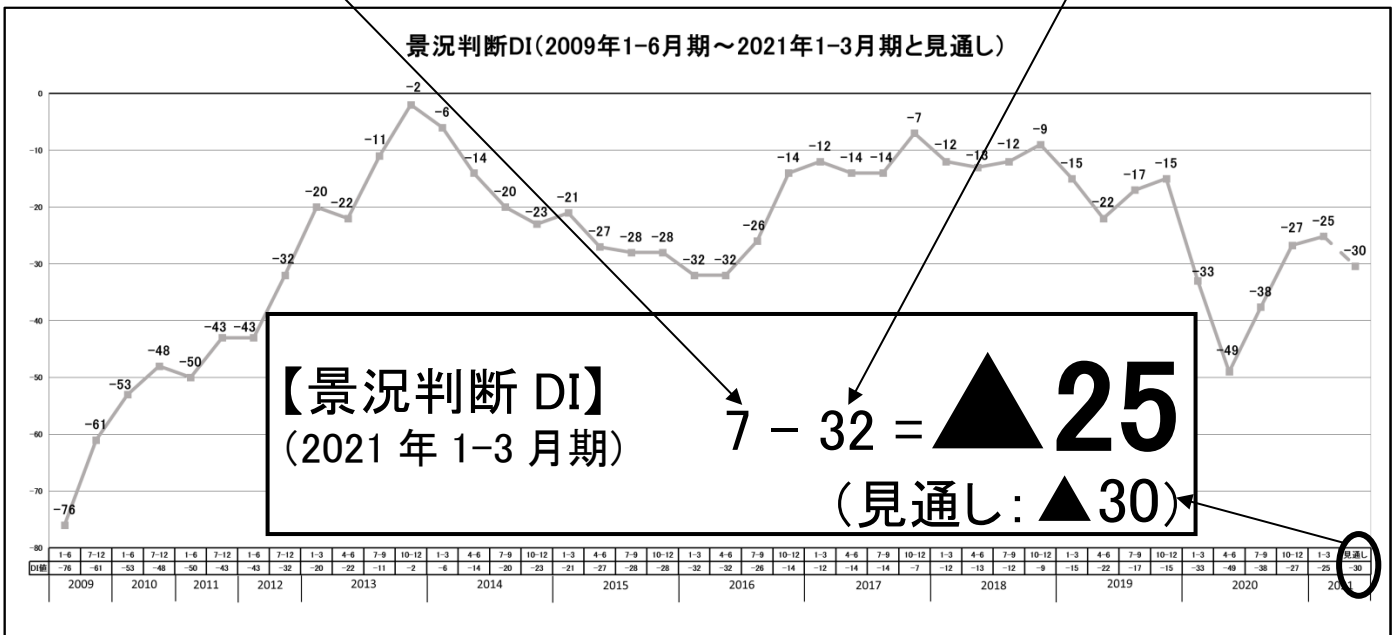
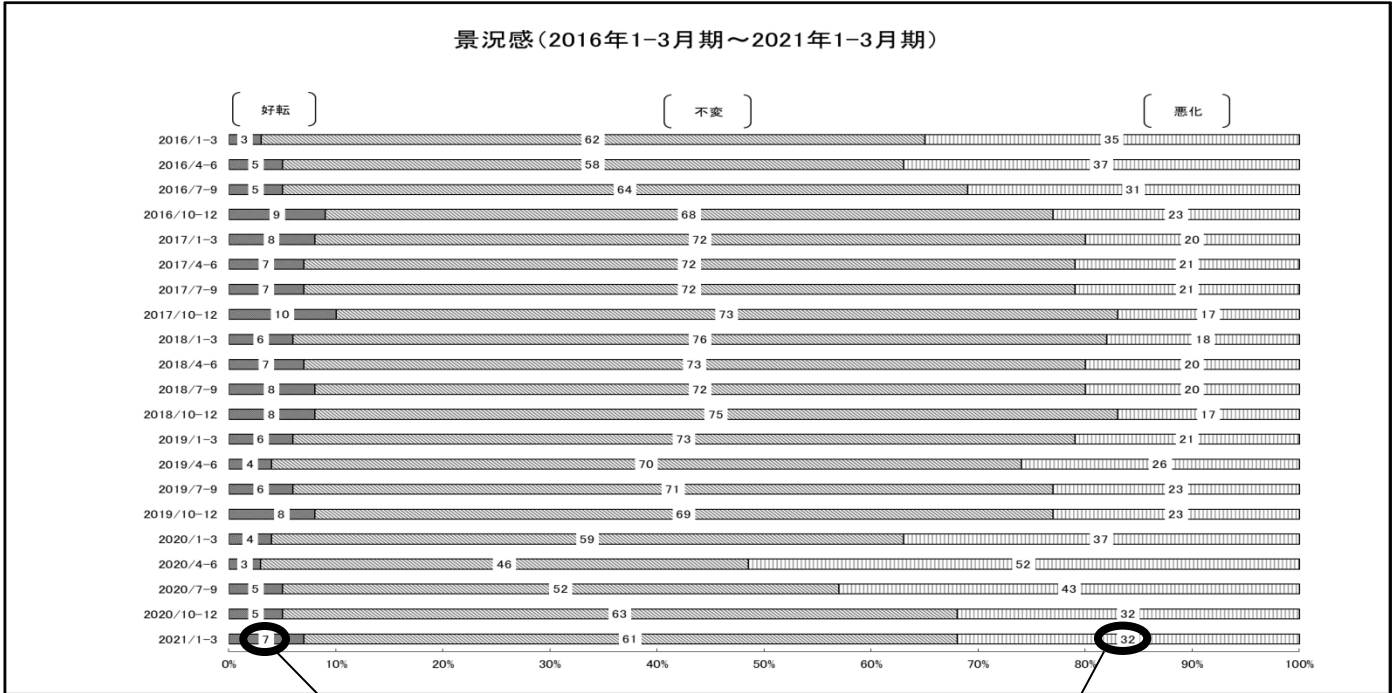
※DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009年から半期周期の調査として実施していたが、2013年からは四半期周期の調査に変更している。

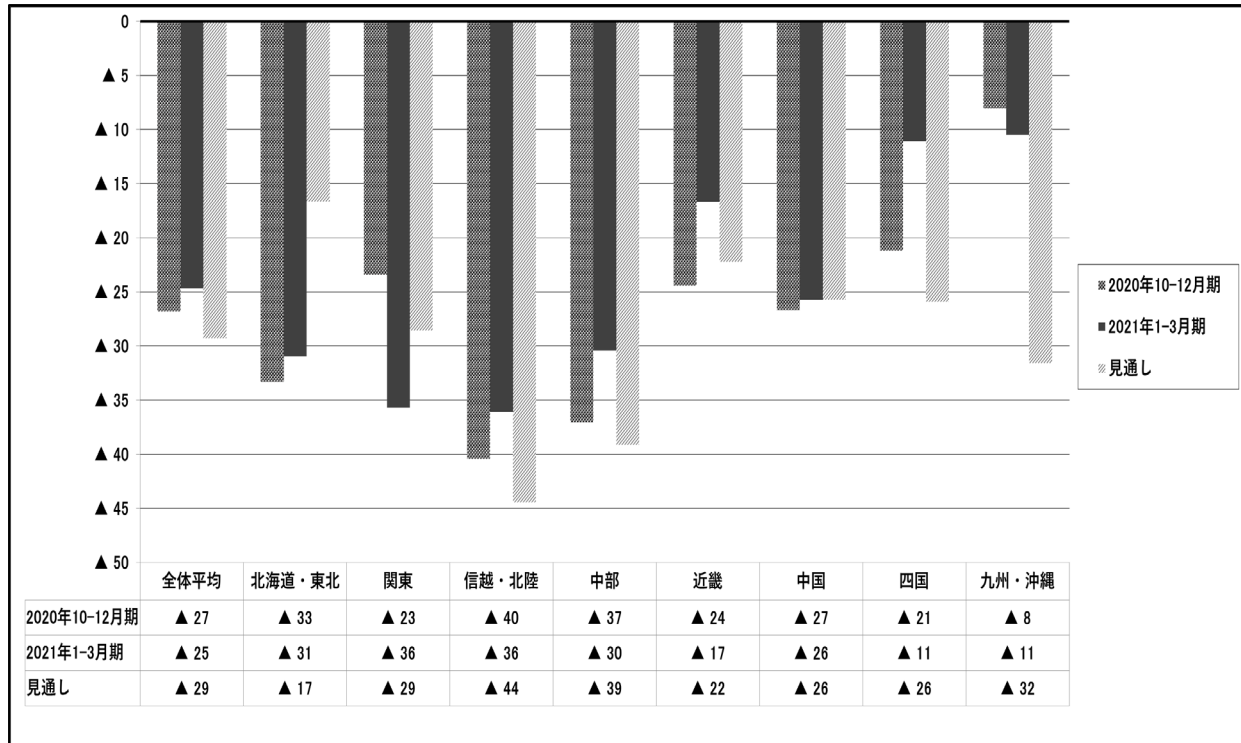
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」―「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲25 となり、2 ポイント改善した。
見通しは▲30 となり、5 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「関東」、「九州・沖縄」が悪化した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI の見通しをみると、「信越・北陸」、「中部」、「近畿」、「四国」、「九州・沖縄」が悪化する見込みとなっている。(3 ページ参照)



地域別景況判断 DI

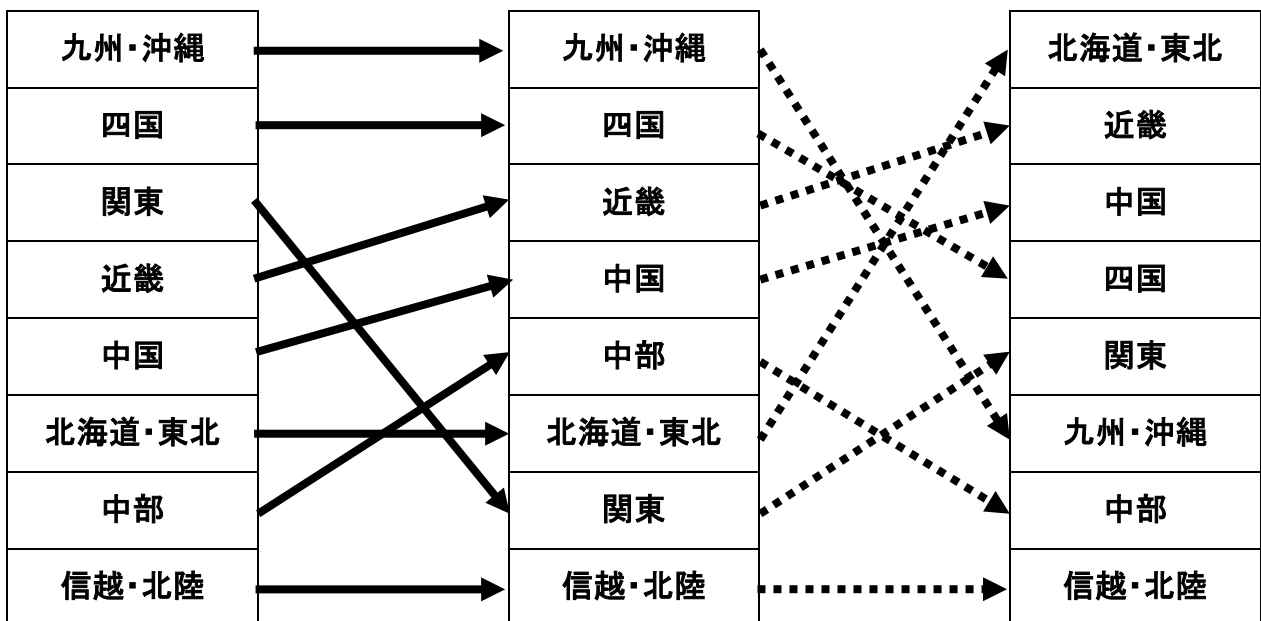


(ランキング推移)

2020年10-12月期
(前期)

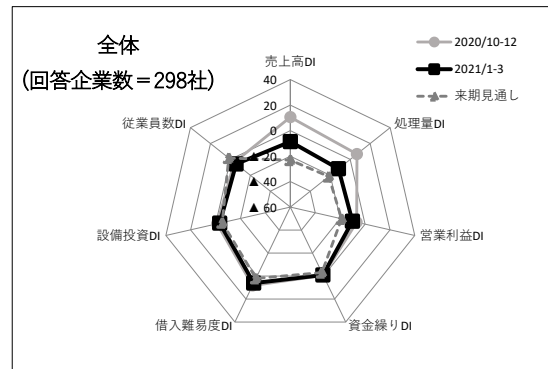
2021年1-3月期
(今期)

2021年4-6月期
(見通し)



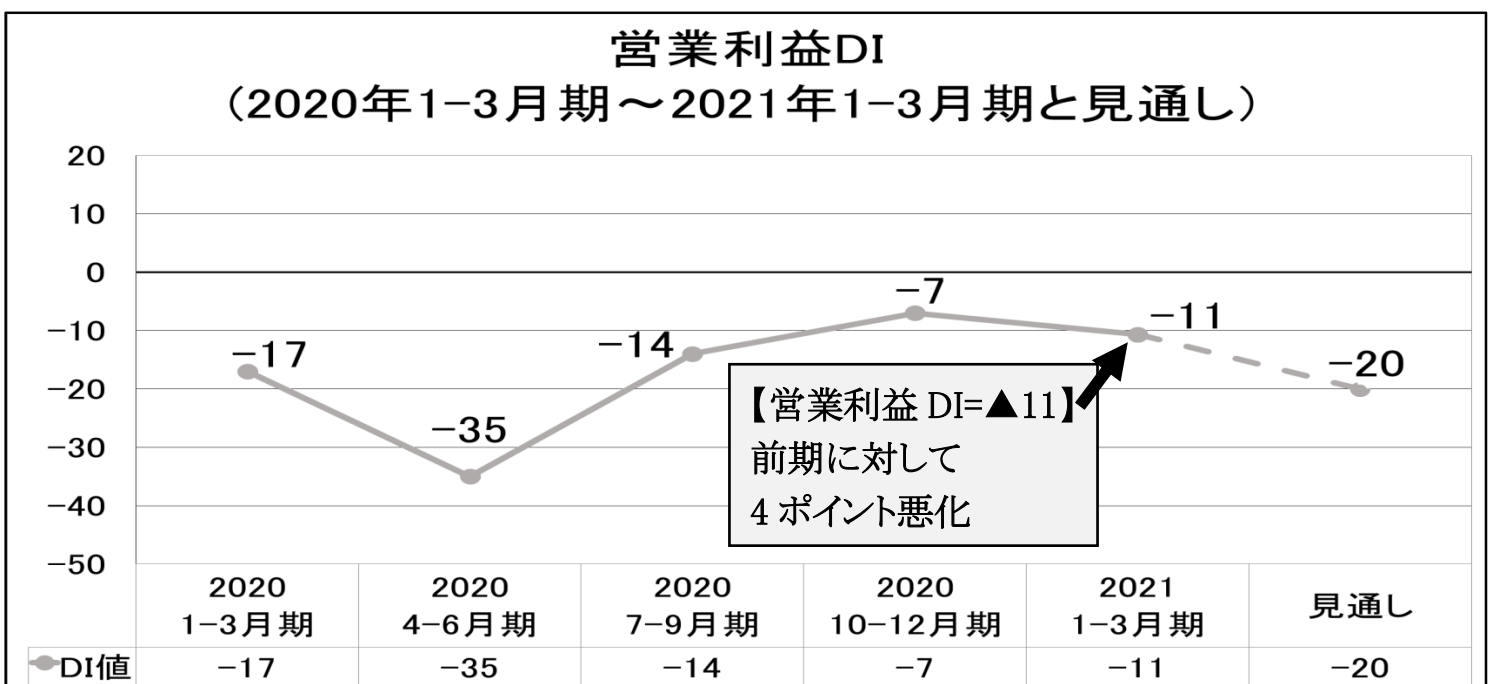
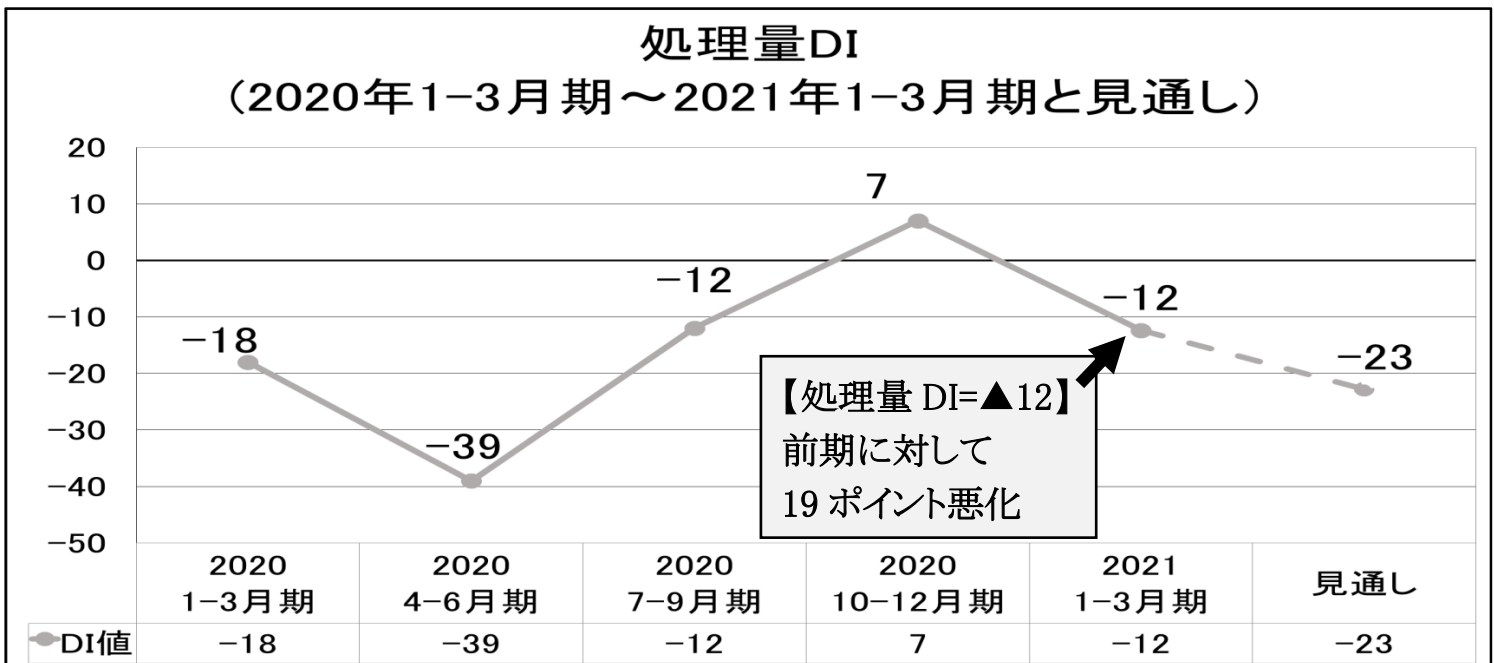
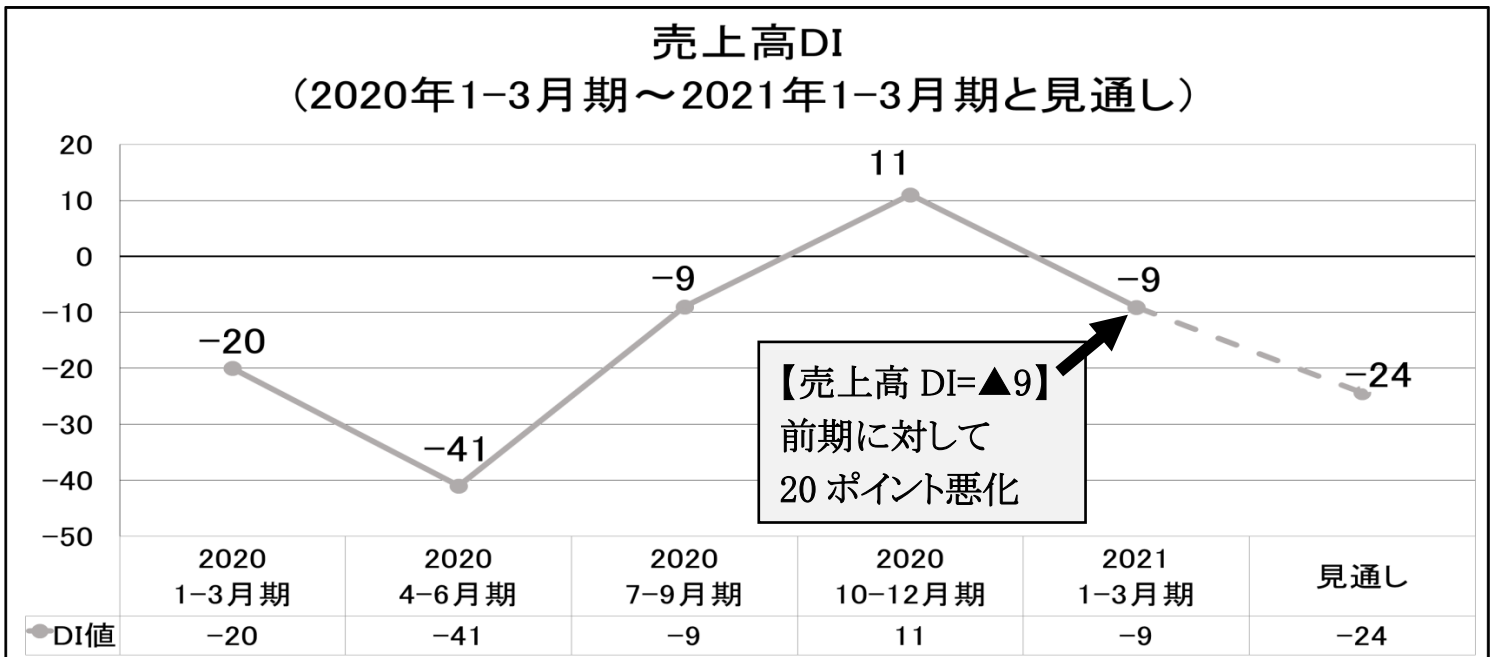
(2)売上高 DI、処理量 DI、営業利益 DI、資金繰り DI、借入難易度 DI、設備投資 DI、従業員数 DI

- 前期と比べて、資金繰り DI を除く全ての、その他業況感 DI が悪化した。
- 見通しは従業員数 DI のみ改善する見込みとなっている。

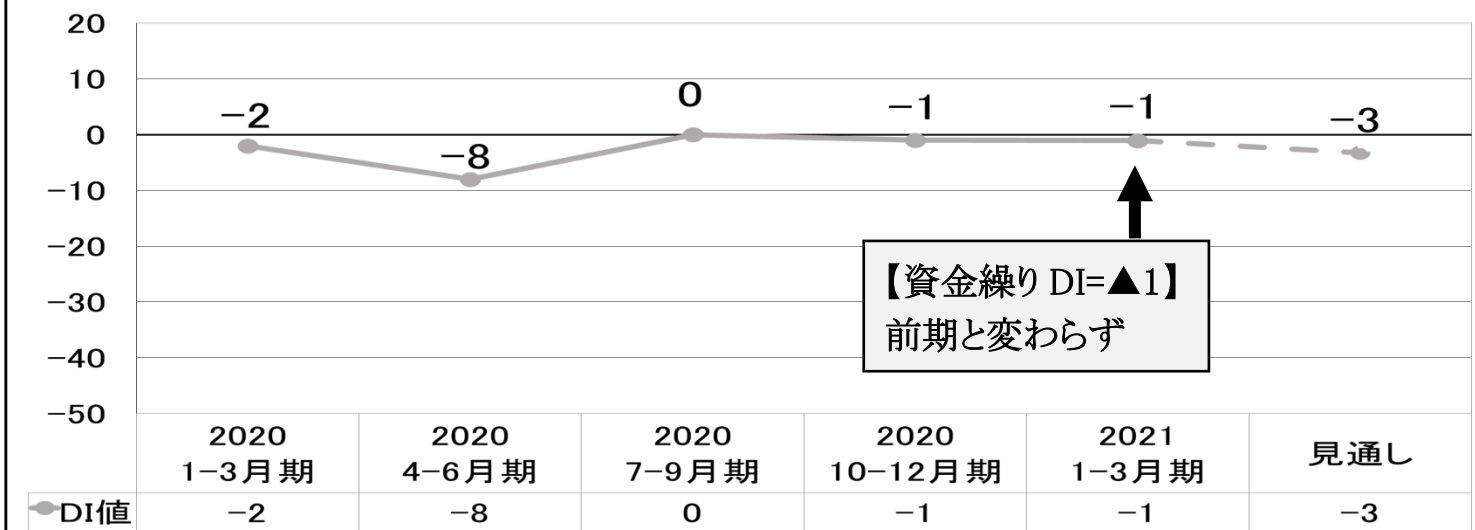


以下詳細(5~7ページ参照)

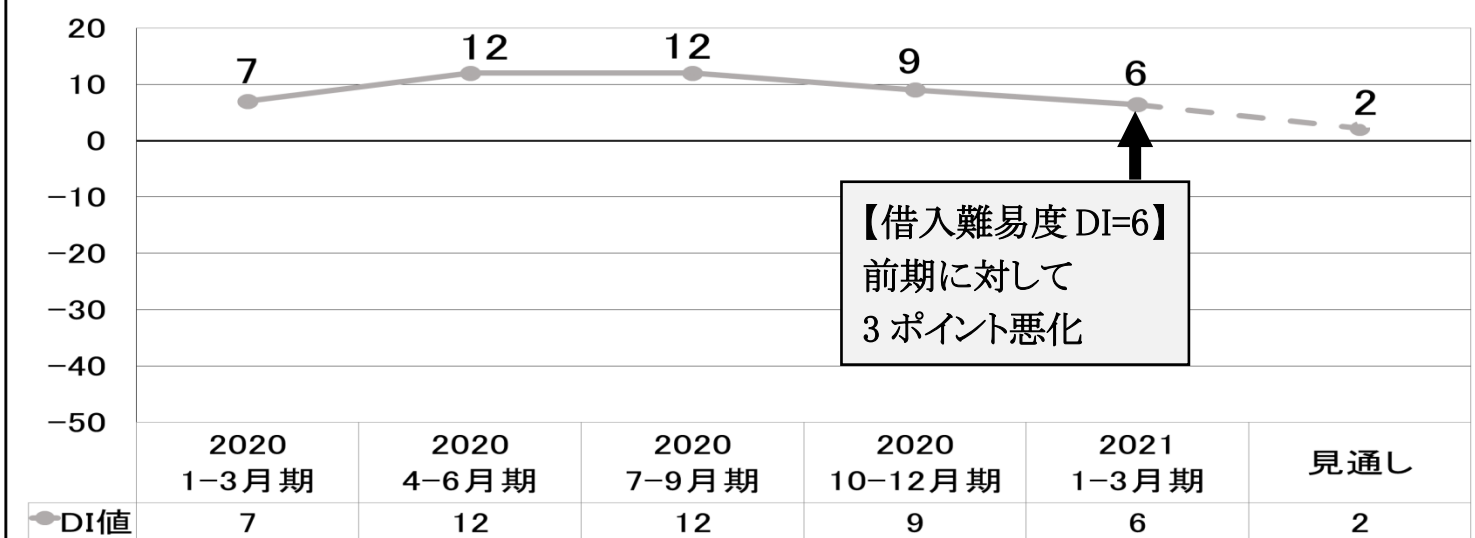
- ・売上高 DI は▲9 となり、前期と比べて 20 ポイント悪化した。
見通しは▲24 となり、15 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・処理量 DI は▲12 となり、前期と比べて 19 ポイント悪化した。
見通しは▲23 となり、11 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・営業利益 DI は▲11 となり、前期と比べて 4 ポイント悪化した。
見通しは▲20 となり、9 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・資金繰り DI は▲1 となり、前期と変わらず。
見通しは▲3 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・借入難易度 DI は 6 となり、前期と比べて 3 ポイント悪化した。
見通しは 2 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・設備投資 DI は▲4 となり、前期と比べて 3 ポイント悪化した。
見通しは▲6 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・従業員数 DI は▲6 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。
見通しは 2 となり、8 ポイント改善する見込みとなっている。



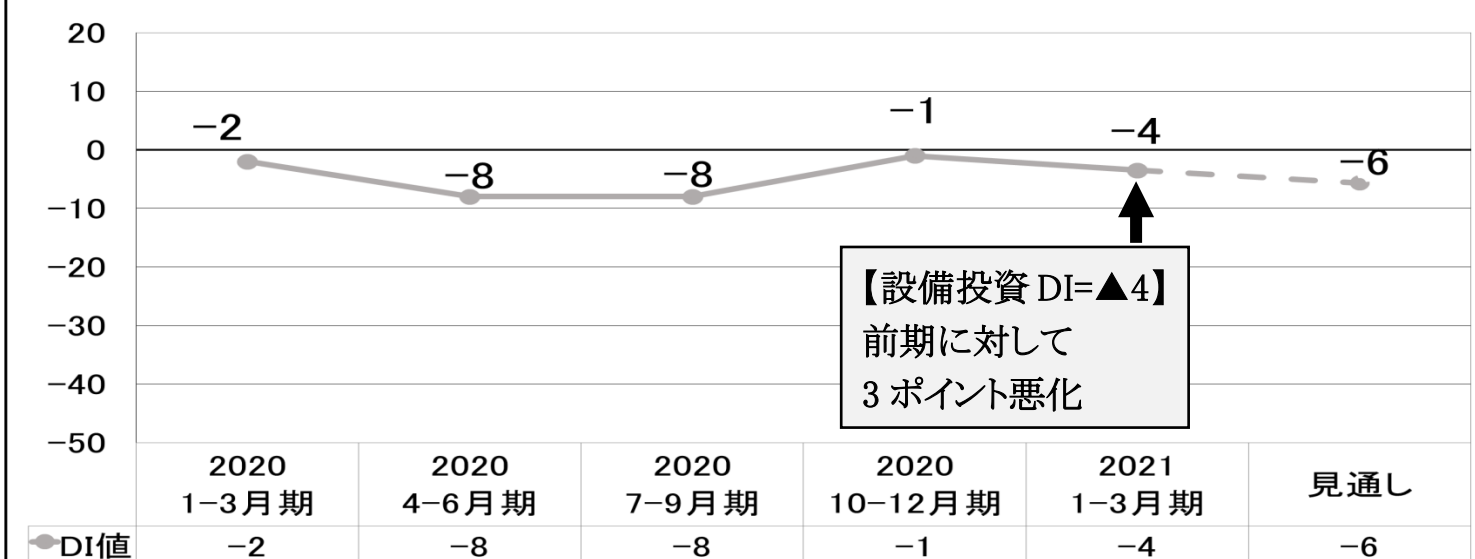
資金繰りDI (2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



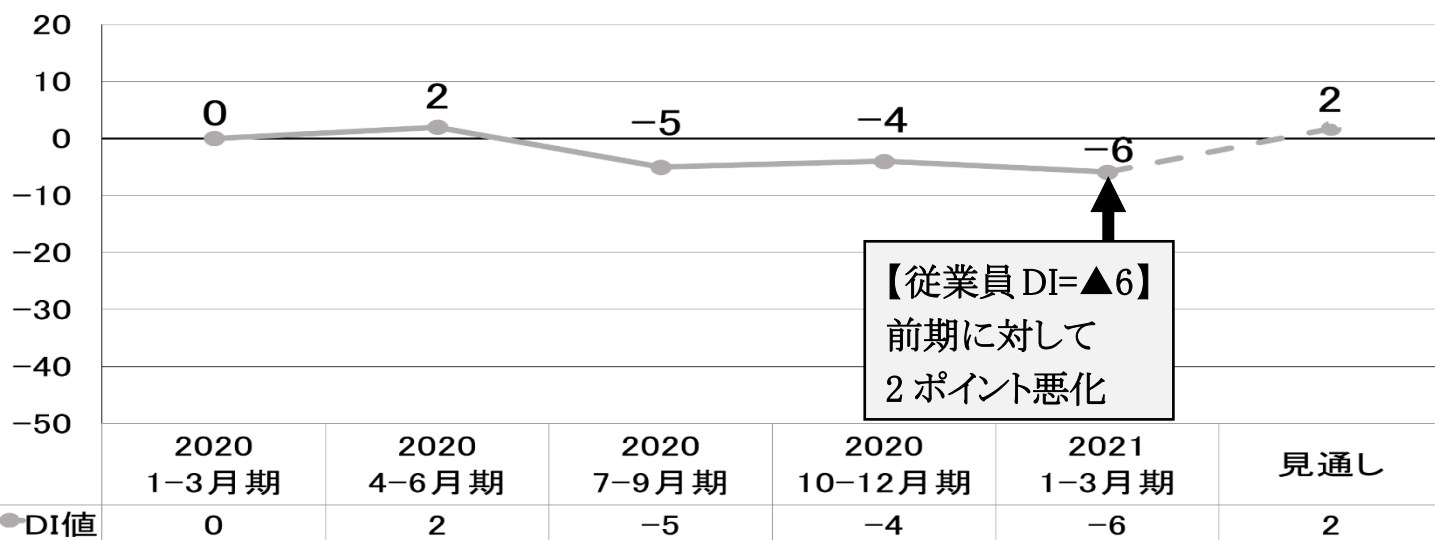
借入難易度DI (2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



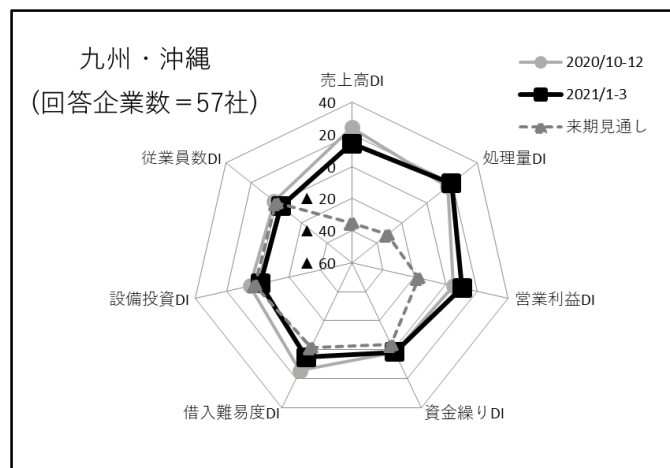
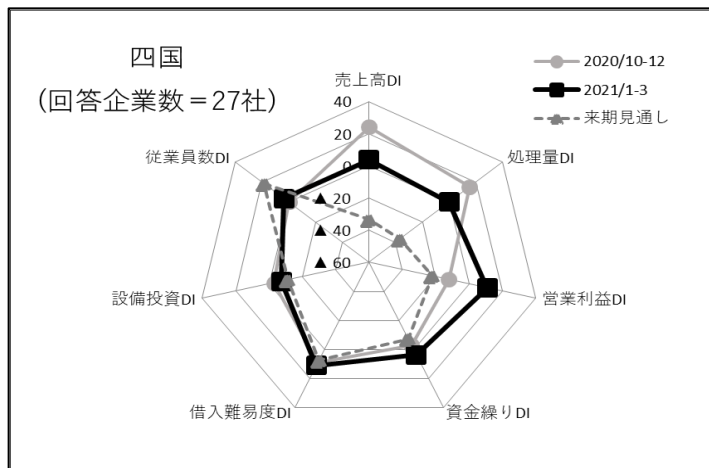
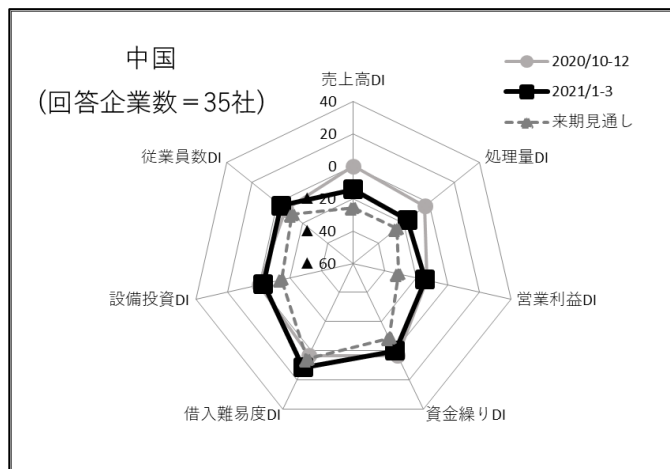
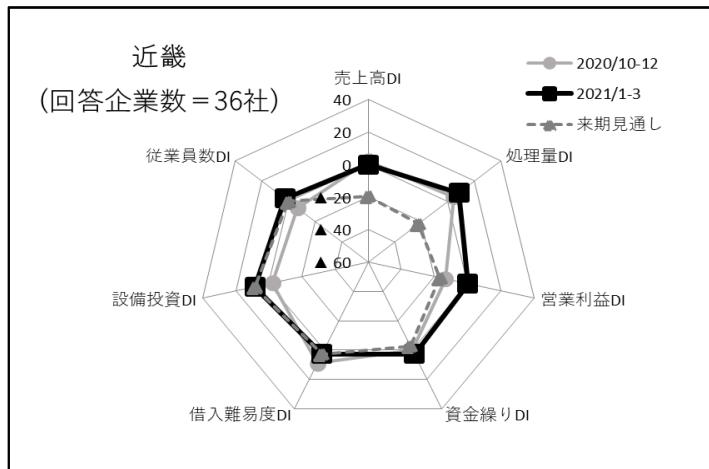
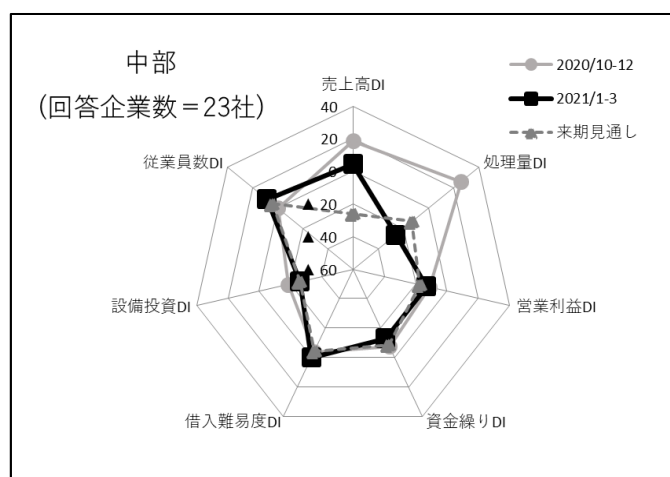
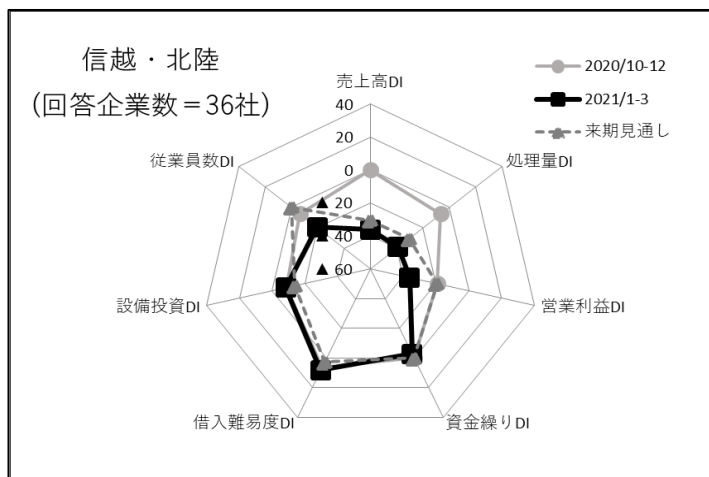
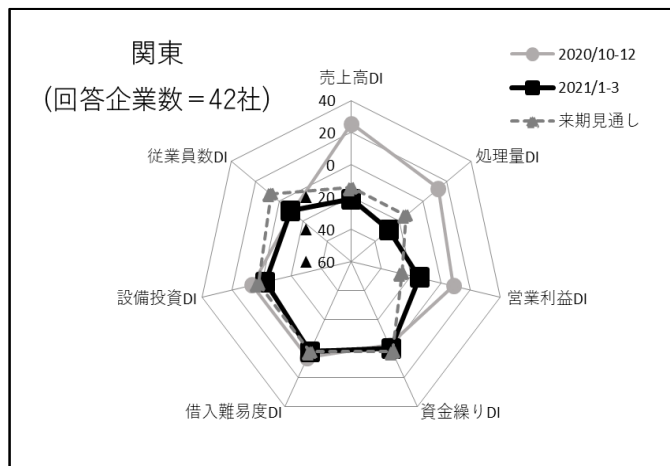
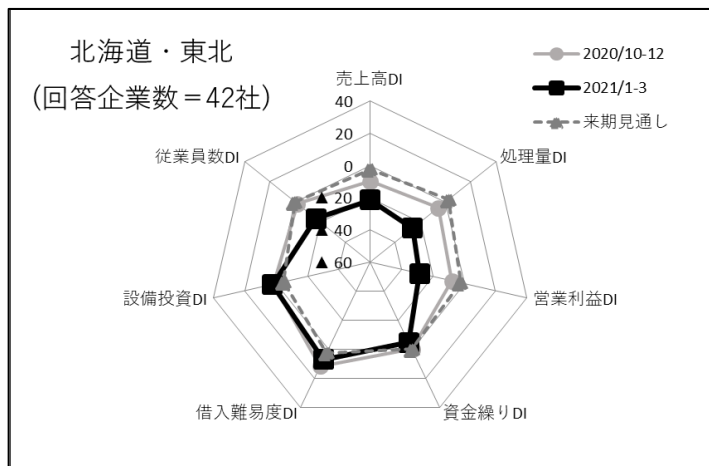
設備投資DI (2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



従業員数DI (2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)

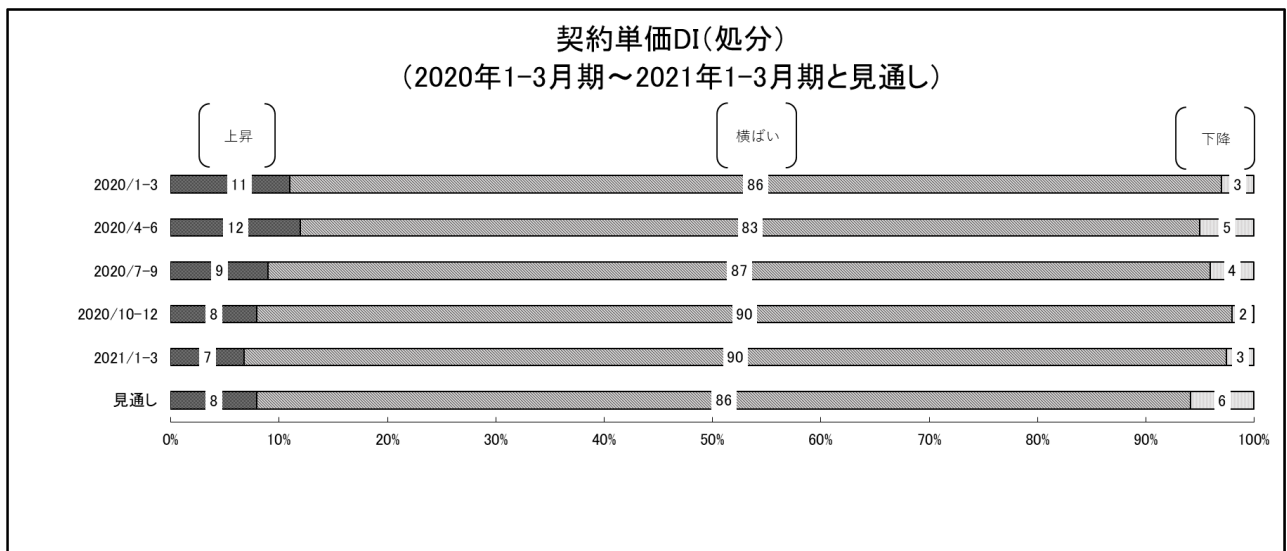
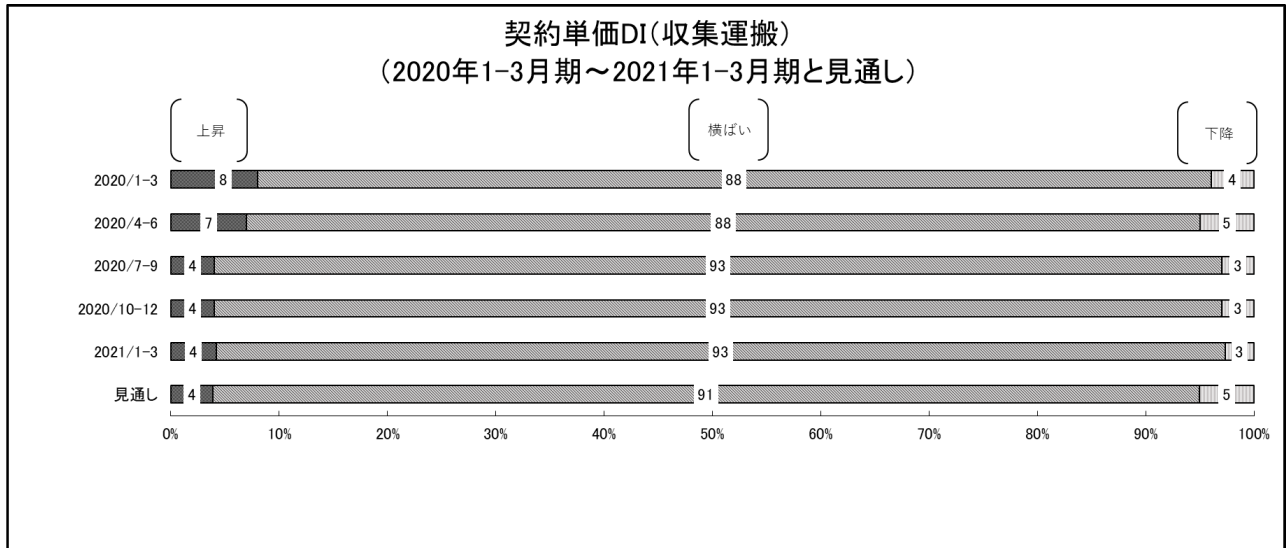


【その他業況感 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 1 となり、前期と変わらなかった。
見通しは▲1 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 4 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。
見通しは 2 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、0.8%増となった。

有効回答数:146 社

単位:千円

前年売上高	2020年1月	2020年2月	2020年3月	平均
	5,731,453	5,998,448	6,556,747	6,095,550
今年売上高	2021年1月	2021年2月	2021年3月	平均
	5,658,870	5,820,258	6,947,985	6,142,371
前年比	▲1.3%	▲3.0%	6.0%	0.8%

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、2.8%減となった。

有効回答数:147 社

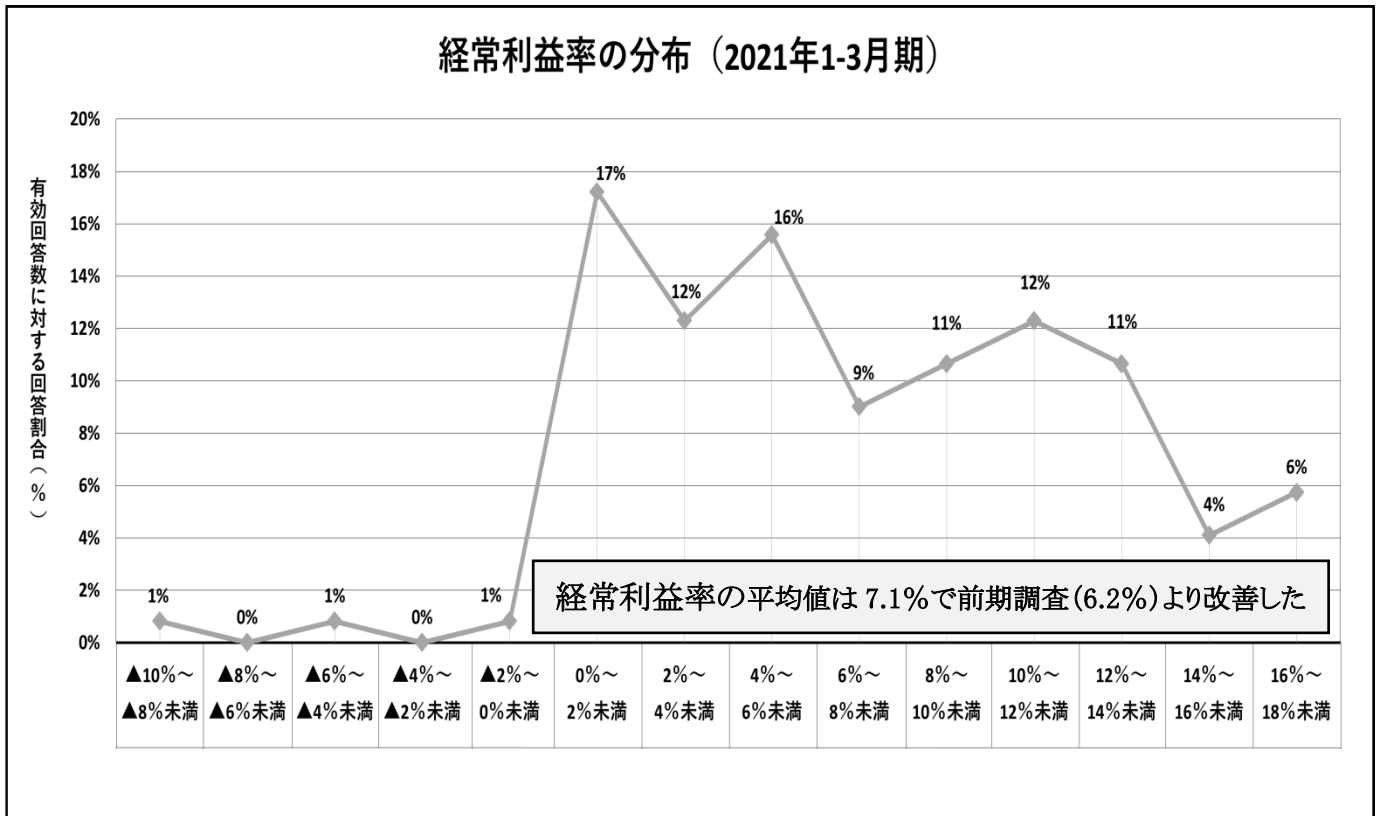
単位:トン

前年処理量	2020年1月	2020年2月	2020年3月	平均
	329,903	367,093	380,680	359,225
今年処理量	2021年1月	2021年2月	2021年3月	平均
	298,778	349,069	400,155	349,334
前年比	▲9.4%	▲4.9%	5.1%	▲2.8%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

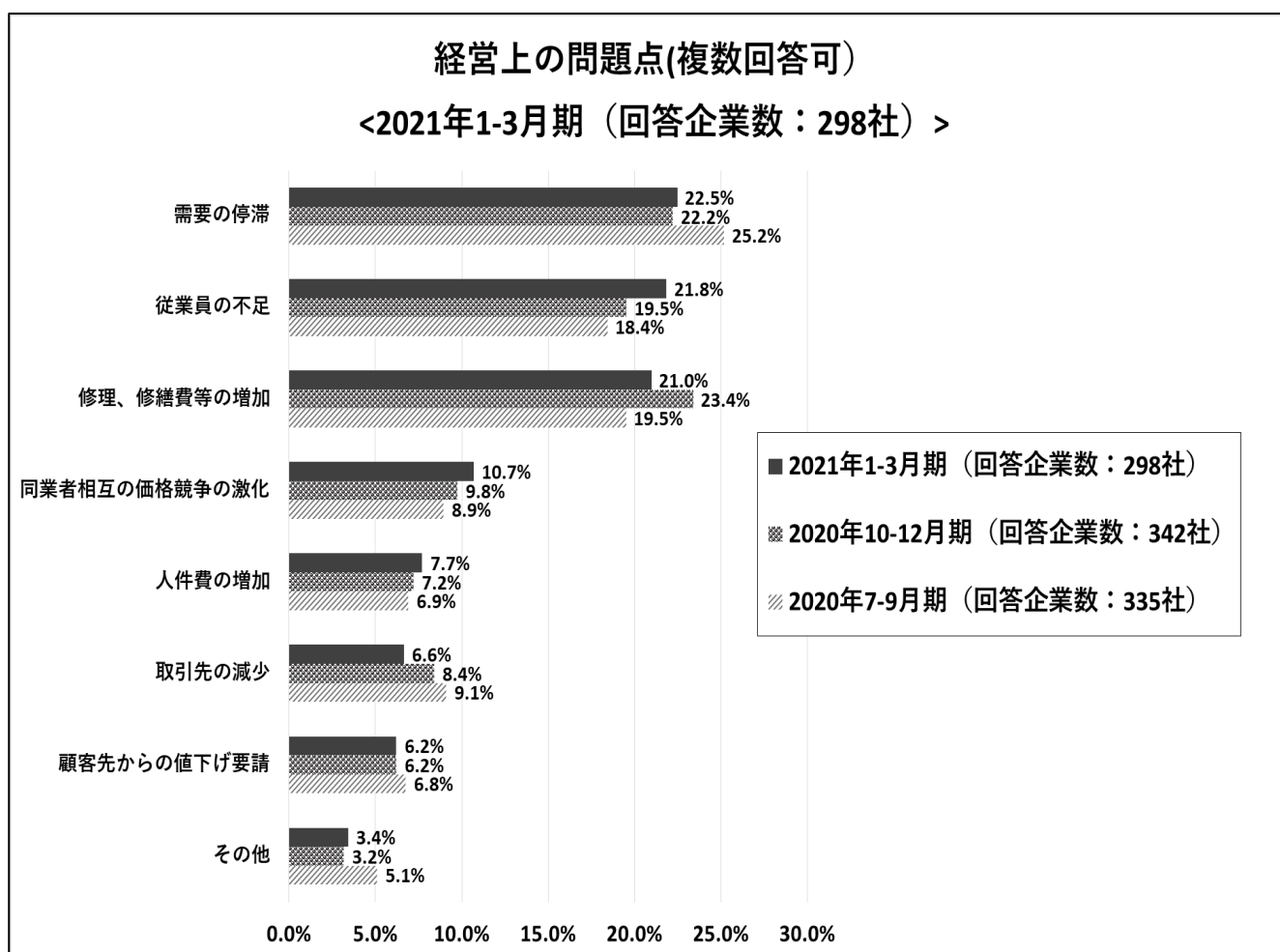
- 経常利益率の平均値は7.1%で前期調査(6.2%)より改善した。
- 最も回答が多かったのは、回答数21社(全体の17%)の「0%~2%未満」となった。

有効回答数:122社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点としては、1位「需要の停滞」、2位「従業員の不足」、3位「修理、修繕費等の増加」となった。
- 「需要の停滞」22.5%(前期 22.2%)が、2期ぶりに1位となった。
- 「従業員の不足」は、3期連続で割合が増加している。
- 「その他」の記述回答は、「新型コロナウイルス感染症の影響」が29.4%であった。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響(その他記述回答の29.4%)
(産業廃棄物発生量の減少、従業員の感染リスクなど)
- ・処分費用の値上げ

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、2008年10-12月期の本調査において回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

「景況動向調査(2008年10-12月期)」で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2021年4月9日～5月6日

(3) 調査方法

郵送によるアンケート

(4) 回答数・回答率

調査依頼企業数 1,024社

回答企業数 298社

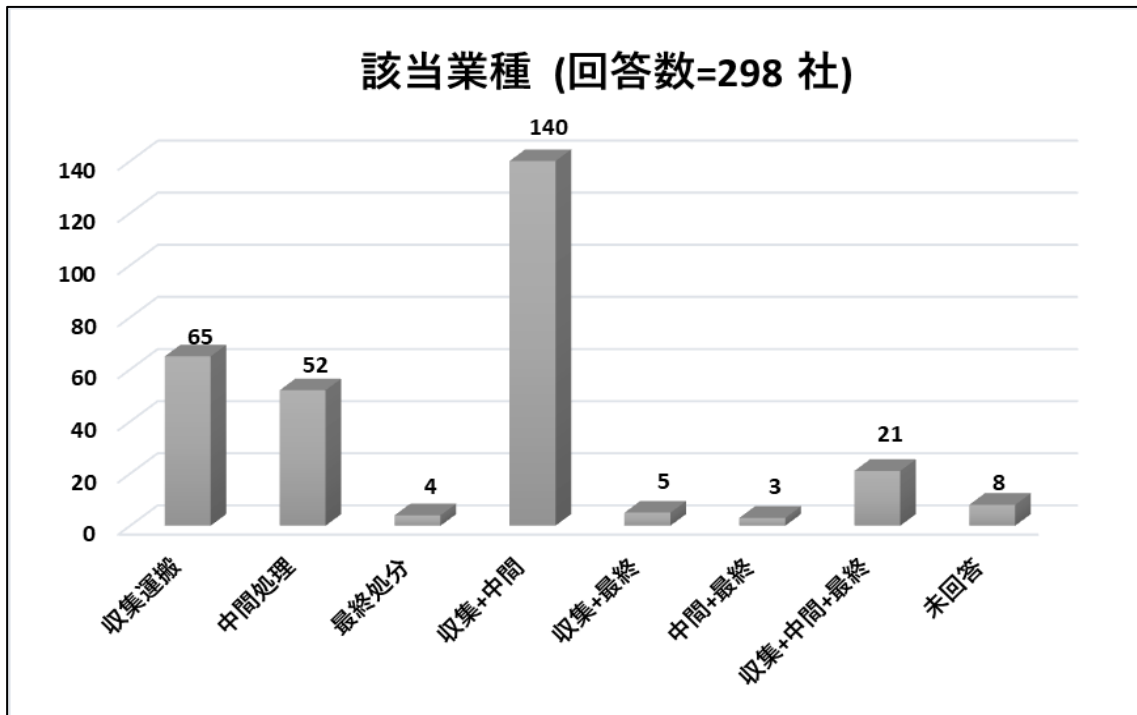
回答率 29.0%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

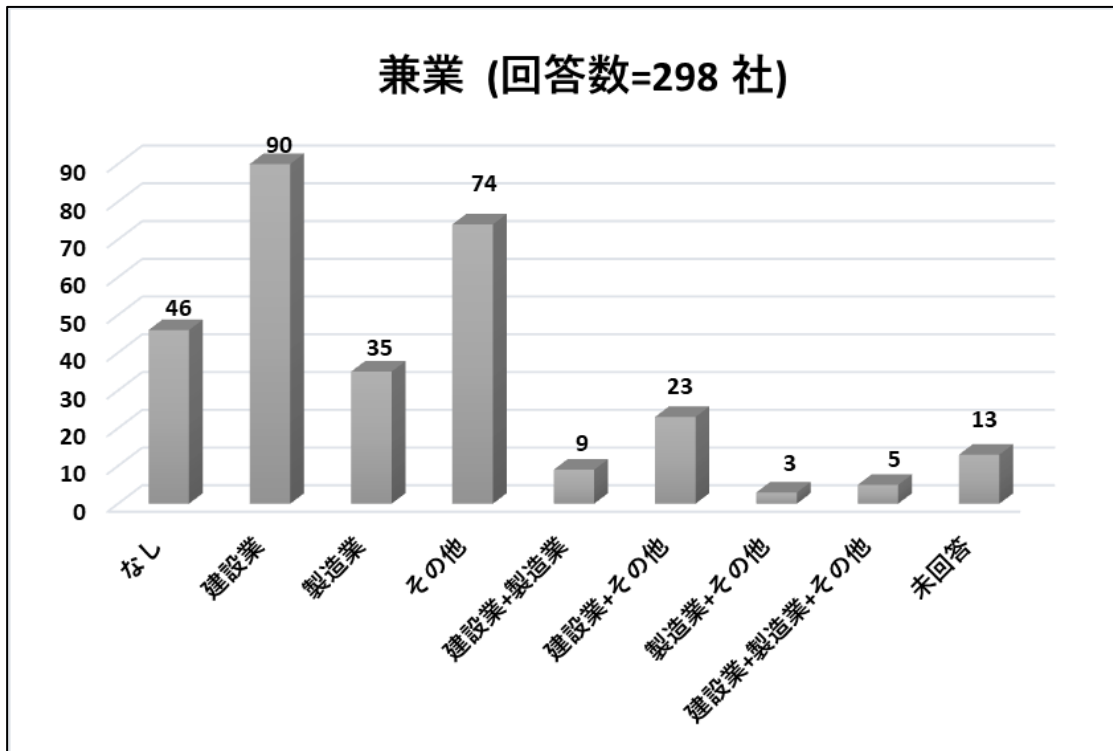
地域	企業数	構成比
北海道・東北	42	14.1%
関東	42	14.1%
信越・北陸	36	12.1%
中部	23	7.7%
近畿	36	12.1%
中国	35	11.7%
四国	27	9.1%
九州・沖縄	57	19.1%
合計	298	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	65	21.8%
中間処理	52	17.4%
最終処分	4	1.3%
収集+中間	140	47.0%
収集+最終	5	1.7%
中間+最終	3	1.0%
収集+中間+最終	21	7.0%
未回答	8	2.7%
合計	298	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	46	15.4%
建設業	90	30.2%
製造業	35	11.7%
その他	74	24.8%
建設業+製造業	9	3.0%
建設業+その他	23	7.7%
製造業+その他	3	1.0%
建設業+製造業+その他	5	1.7%
未回答	13	4.4%
合計	298	100.0%